

令和4年度 生麦地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

歴史を大切にしている地区です。年間を通じ、数々の伝統行事があり、地域の方々が一丸となって町を盛り上げています。伝統行事を通して、若い世代へ伝統を継承することにより、住民同士がつながり、様々な世代が交流するきっかけとなっています。また、地域に愛着を持っていらっしゃる方も多く、向こう三軒両隣の関係や、地域活動などを通じた人と人との温かいつながりがあります。地域の状況としては、国道15号線と鉄道線路の間に新しいマンションが立ち並び、子育て世代の居住率の高まりと併せ、地区別高齢化率も高まり、地元の方と転入者の方が混在している傾向にあります。これまで大切に守られてきた伝統を、次世代へ語り継ぐことのできる支援が必要であると考え、多世代交流や青少年育成、子育て世帯へのアプローチ等を積極的に行い、世代を超えたつながりやネットワークの拡充が必要だと考えます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

■ 元気づくりステーションボランティアミーティングを継続的に実施し、お互いの困りごとの共有や解決策の相談を行いながら、ボランティア同士の横のつながりを維持し、今後の活動継続を支え合っていく。
介護予防の人材育成の観点から、介護予防に取り組む団体から参加者を募り、簡単な体操や脳トレのアイデアを学ぶことが出来る機会とそれぞれの団体同士のつながり作りが出来る機会を提供する。コグニサイズなどの各活動の中で活かせるような運動やアイデアを学べる機会を提供していく必要がある。また、それぞれの団体がつながり、同じ地域内で活動するもの同士として支え合える関係性を構築していく。

■ 元気づくりステーション参加者が赤ちゃん会等に参加し、生麦らしさを感じられる盆踊りを紹介することで、乳幼児を抱えた保護者と高齢者が多世代交流をできる機会を創出する。

■ 地域の状況(行事など)や課題の確認を毎月実施している地区社協の「生麦第一地区連絡会」において行う。またその中で「地区社協だより」の編集会議を行い、あいねっとや地域の取り組みなどを紙面に掲載し、地域情報を発信し、地区別計画の推進を行う。

■ 支援を必要とされる方であっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように生活支援ボランティアの募集を行い、ボランティアの体制が整ったら、利用案内を行い、活動を開始する。生活支援ボランティアの募集や利用案内はケアプラザニュースやブログを活用し行う。

■ 民生委員など地域で福祉・保健に係る活動をしている方や医療・介護専門職に相談窓口情報が網羅された冊子「暮らしのお便利帳」を配布し、協力をお願いすることで、複合的な課題をもつ家庭への支援に対して多くの支援者が対応できるような体制づくりを行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

感染症対策について工夫しながら、地域での活動も少しずつ再開されてきましたが、大人数集まる開催は自粛が続いています。そのような中で、重点項目の取り組みでの、元気づくりステーションの活動については、ボランティアを中心に協議を進めながら、多くの方が参加・交流できるようにと屋外での実施を企画・実施したり、赤ちゃん会へ元気づくりステーション参加者が参加することで、盆踊りを通して、乳幼児を抱えた保護者が生麦について少しでも知ることが出来る機会や多世代交流のきっかけをつくることができました。また、地区社会福祉協議会を中心としたなまじゅん編集委員会においては、地域状況の情報交換、課題の共有を継続的に実施しました。外出機会の減少から、これからの生活に不安を抱く方も増加傾向にあることから、年間を通して屋外での夕暮れラジオ体操をおこなうことで、介護予防、高齢者、地域のつながりの維持に努めました。これまでのつながりの希薄化から新たな課題もありますが、つながりが途絶えることのないよう、つながりが強固なものとなるよう、継続して取り組んでいきたいと思ひます。

区からのコメント

これまでの地域アセスメントの蓄積がある中でも、まち歩きや現場に向かうことで地域の最新の情報を更新していく姿勢は、非常に大切であり、これからもぜひ続けて欲しいと思ひます。地区社協支援にも力を入れていただき、地域の取組情報を継続していることもアフターコロナのつながりづくりに大きく寄与していくと思ひます。引き続き、地域住民の地元及び伝統への愛着を大切にしながら、区を含む関係機関と積極的に連携していただくことを期待しています。
また、グラウンドゴルフ大会をあいねっと杯として開催することで、区もそこに参加し、フレイル予防や健康教育を行うといった取り組みを実施することができました。コロナ禍にあっても屋外での活動を積極的に取り入れ、住民同士のつながりを維持するための努力をされている点は素晴らしいと感じます。
地域ケア会議において取り上げられている孤立の防止については、居場所づくりはもちろんのこと、新たに立ち上がった生活支援ボランティアも有用に活用することのできる生活支援体制整備の基盤の一環となり得ます。地域の理解や賛同、そして、担い手の問題もありますが、すでに老人クラブや民児協で共有されている社会資源の活用にかかる好事例を、地域ケア会議などにおいても周知いただくことで、地域課題の解消に努めていただきたいと思います。

令和4年度生麦地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	利用者、事業者を問わず、公正・中立性を確保するための取り組みを行います。利用者には新規契約時に訪問介護・通所介護・地域密着型通所介護・福祉用具貸与の利用割合を別紙交付すると共に、新規、継続問わずエリア内の全ての事業者から自ら選択をしていただけるように資料を揃えてわかりやすく説明します。事業者には、利用者の希望や事業者の特徴を考慮しつつも公正な依頼をします。	個人情報はその方の人格そのものであるという意識を持ち、その取り扱いについて配慮を高めます。実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、業務上持ち出しが必要な場合には、紛失や漏えいのないよう最小限の情報での持ち出しとします。事故や“ヒヤリハット”があった場合は、検証や事故防止の対策を行い、その情報を全職員で共有します。職員の危機管理意識を高め、同じことが起きないように周知徹底します。
実績	公平中立性を確保するための取り組みとして新規契約時に訪問介護・通所介護・地域密着型通所介護・福祉用具貸与の利用割合を別紙交付すると共に、新規、継続問わずサービス調整時にはエリア内の全ての事業者から自ら選択をしていただけるように資料を揃えてわかりやすく説明しました。事業者には、利用者の希望や事業者の特徴を考慮しつつも公正な依頼をしました。	契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管し、業務上持ち出しが必要な場合には、最小限の情報での持ち出しを勤めました。事故発生時、検証や事故防止の対策を行い、その情報を職員会議の場で全職員で共有し職員の危機管理意識を高める取り組みを行いました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	高齢者が地域で生きがいや役割をもって生活できる。介護予防、自立支援を盛り込んだ介護予防サービス・支援計画書が作成できる。	利用者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることを基本に利用者の意思を尊重したケアプランを作成する。年間486件の給付を目指し、介護保険事業の安定した運営を行う。
利用料金・実費負担	生麦地域ケアプラザの担当地域以外の地域に訪問・出張する必要がある場合には、利用者がその交通費(実費)を負担必要がある。	サービス提供地域(鶴見区、神奈川区)以外に居住する利用者は介護支援専門員が訪問するための交通費の実費を負担する必要がある。
職員体制	管理者 1名(兼務) 担当職員 3名(兼務) (保健師1名、社会福祉士1名、主任ケアマネジャー1名)	管理者 1名(兼務) 担当職員 2名
契約者数	192	40

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			

職員 体制			
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「生麦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,824,042	719,340	20,543,382	20,543,382	0	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)	144,000		144,000	201,800	△ 57,800	
横浜市による運営支援		508,000	508,000	508,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	3,000	0	3,000	3,865	△ 865	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料	3,000		3,000	3,865	△ 865	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	19,971,042	1,227,340	21,198,382	21,257,047	△ 58,665	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,246,000	0	11,246,000	10,748,364	497,636	
本俸	7,640,000		7,640,000	7,421,308	218,692	
社会保険料	845,000		845,000	844,136	864	
手当計	2,111,000		2,111,000	1,922,688	188,312	
健康診断費	50,000		50,000	14,369	35,631	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	600,000		600,000	545,863	54,137	
その他	0		0	0	0	
事務費	2,040,042	0	2,040,042	2,638,149	△ 598,107	
旅費	18,000		18,000	39,570	△ 21,570	
消耗品費	270,000		270,000	233,586	36,414	
会議購入費	42,000		42,000	11,578	30,422	
印刷製本費	190,000		190,000	138,728	51,272	
通信費	460,000		460,000	444,588	15,412	
使用料及び賃借料	11,120	0	11,120	0	11,120	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)	11,120		11,120	0	11,120	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	0	50,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	127,000		127,000	71,034	55,966	
職員等研修費	15,000		15,000	0	15,000	
振込手数料	20,000		20,000	9,790	10,210	
リース料	400,000		400,000	328,029	71,971	
手数料	50,000		50,000	39,184	10,816	
地域協力費	111,000		111,000	32,200	78,800	
その他	275,922		275,922	1,289,862	△ 1,013,940	
事業費	1,200,000	0	1,200,000	587,177	612,823	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	1,200,000		1,200,000	587,177	612,823	
その他	0		0	0	0	
ICT整備費 (追加)	0	200,000	200,000	225,030	△ 25,030	
ICT整備費 (追加)		200,000	200,000	225,030	△ 25,030	
オンライン相談機器整備費 (追加)	0	0	0	0	0	
オンライン相談機器整備費 (追加) (モデル実施対象施設)			0	0	0	
サニタリーボックス (追加)	0	20,000	20,000	20,177	△ 177	
サニタリーボックス		20,000	20,000	20,177	△ 177	
管理費	4,061,000	0	4,061,000	4,308,538	△ 247,538	
光熱水費	1,520,000		1,520,000	1,617,488	△ 97,488	
清掃費	810,000		810,000	802,956	7,044	
機械整備費	450,000		450,000	448,404	1,596	
設備保全費	1,281,000	0	1,281,000	1,195,884	85,116	
空調衛生設備保守	448,000		448,000	447,675	325	
消防設備保守	68,000		68,000	67,782	218	
電気設備保守	555,000		555,000	513,579	41,421	
害虫駆除清掃保守	105,000		105,000	62,568	42,432	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	105,000		105,000	104,280	720	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	243,806	△ 243,806	
修繕費	474,000	381,876	855,876	973,340	△ 117,464	予算・指定額
公租公課	950,000	0	950,000	1,174,826	△ 224,826	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	950,000		950,000	1,174,826	△ 224,826	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	19,971,042	601,876	20,572,918	20,675,601	△ 102,683	
差引	0	625,464	625,464	581,446	44,018	

自主事業費 収入	144,000	0	144,000	201,800	△ 57,800	
自主事業費 支出	1,200,000	0	1,200,000	587,177	612,823	
自主事業 収支	△ 1,056,000	0	△ 1,056,000	△ 385,377	△ 670,623	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	3,000	0	3,000	3,865	△ 865	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	11,120	0	11,120	0	11,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 8,120	0	△ 8,120	3,865	△ 11,985	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和4年度「生麦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,006,000	0	25,006,000	25,006,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	14,700	△ 14,700	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
雑入	3,000	0	3,000	3,864	△ 864	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	3,000		3,000	3,864	△ 864	
その他			0	0	0	
その他	2,035,000	0	2,035,000	0	2,035,000	
収入合計	33,000,000	0	33,000,000	30,980,564	2,019,436	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,410,000	0	28,410,000	26,499,548	1,910,452	
本俸	16,700,000		16,700,000	15,504,675	1,195,325	
社会保険料	3,850,000		3,850,000	3,420,772	429,228	
手当計	6,400,000		6,400,000	5,997,826	402,174	
健康診断費	160,000		160,000	98,164	61,836	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	1,300,000		1,300,000	1,478,111	△ 178,111	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,886,000	0	1,886,000	1,277,754	608,246	
旅費	90,000		90,000	22,929	67,071	
消耗品費	520,000		520,000	49,288	470,712	
会議賄い費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	51,000		51,000	36,877	14,123	
通信費	220,000		220,000	183,047	36,953	
使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	0	10,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,000		10,000	0	10,000	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	0	50,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	18,882	21,118	
職員等研修費	75,000		75,000	22,000	53,000	
振込手数料	16,000		16,000	7,700	8,300	
リース料	300,000		300,000	169,990	130,010	
手数料	30,000		30,000	10,416	19,584	
地域協力費	130,000		130,000	18,870	111,130	
その他	344,000		344,000	737,755	△ 393,755	
事業費	1,493,000	0	1,493,000	751,509	741,491	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	400,000		400,000	23,565	376,435	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	69,944	239,056	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,085,000	0	1,085,000	1,145,304	△ 60,304	
光熱水費	410,000		410,000	429,964	△ 19,964	
清掃費	215,000		215,000	213,444	1,556	
機械警備費	120,000		120,000	119,196	804	
設備保全費	340,000	0	340,000	345,612	△ 5,612	
空調衛生設備保守	120,000		120,000	119,001	999	
消防設備保守	20,000		20,000	18,018	1,982	
電気設備保守	150,000		150,000	136,521	13,479	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	16,632	3,368	
駐車場設備保全費	0		0	27,720	△ 27,720	
その他保全費	30,000		30,000	27,720	2,280	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	37,088	△ 37,088	
修繕費	126,000	0	126,000	126,000	0	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	33,000,000	0	33,000,000	29,800,115	3,199,885	
差引	0	0	0	1,180,449	△ 1,180,449	

自主事業費 収入	0	0	0	14,700	△ 14,700	
自主事業費 支出	863,000	0	863,000	247,509	615,491	
自主事業 収支	△ 863,000	0	△ 863,000	△ 232,809	△ 630,191	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	3,000	0	3,000	3,864	△ 864	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,000	0	10,000	0	10,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 7,000	0	△ 7,000	3,864	△ 10,864	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:生麦地域ケアプラザ

R4年4月1日～ R5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,800	3,815	-15	3,800	4,302	-502	5,880	6,700	-820
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0			0
	収入合計(A)	3,800	3,815	-15	3,800	4,302	-502	5,880	6,700	-820
支出	人件費	600	800	-200	500	1,000	-500	7,600	7,077	523
	事務費	50	80	-30	50	100	-50	400	1,000	-600
	事業費	0	0	0	0	0	0	200	120	80
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2,048	1,997	51	1,982	2,332	-350	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,048	1,997	51	1,982	2,332	-350			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0			0
	支出合計(B)	2,698	2,877	-179	2,532	3,432	-900	8,200	8,197	3
	収支 (A)-(B)	1,102	938	164	1,268	870	398	-2,320	-1,497	-823

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	やさしい体操	平成23年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域高齢者の健康維持・増進、介護予防として取り組む。また、ケアプラザ職員が講師となることで参加者とのコミュニケーションを図り、顔の見える関係づくりを行う。	1:高齢者	5	ケアプラザ職員が講師を順番に務め、椅子に座って行えるストレッチ、体操、脳トレなど行う。 会場:生麦地域ケアプラザ 毎週火曜日 13:00~13:45	100	1540
2	夕暮れラジオ体操	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民の健康維持・増進を目的に、外に出て活動する場の提供を行う。	5:地域	1	ケアプラザの向かいにあるふれあいの家の中庭にてラジオ体操やストレッチを行う。 会場:ふれあいの家 中庭 毎週水曜日 16:20~16:50	93	1568
3	かんたん絵手紙	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	絵手紙を描くことを通じて指先を意識的に動かし脳の活性化、介護予防につなげる。参加者同士の仲間づくりの場とする。	5:地域	1	講師の手本に沿って絵手紙を製作する。絵を通し、楽しみつつ仲間を作り、閉じこもりを予防。 会場:生麦地域ケアプラザ 月2回 水曜または土曜日 10:00~11:00	19	53
4	英語で脳トレ	令和2年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者の集いの場を提供するとともに高齢者の閉じこもり予防、認知症予防に取り組む。	1:高齢者	5	簡単な英語にふれながら手遊びやゲームを行い、皆で楽しみながら脳トレを実施する。 会場:生麦地域ケアプラザ 月1回 13:00~13:45	11	71
5	生麦散歩	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	① 地域の方々の健康増進と運動習慣への意識を高める。 ② 介護予防と健康づくりの知識を普及・啓発を行う。 ③ 正しい歩き方や転倒予防への知識を伝えることにより、怪我の予防と健康寿命の延長を図る。	1:高齢者	5	正しい姿勢で歩行出来るように歩き方講習を行う。 健康づくりの知識を普及啓発するために健康講話を行う。 8,000歩前後を目標に散歩を行う。 月1回	12	117
6	チャリティー事業	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	「赤い羽根共同募金」、「横浜YMCA国際地域協力募金」、「ウクライナ緊急支援募金」などへの理解と協力をいただくことを目的として実施する。	5:地域	1	転倒予防体操、コグニサイズ、脳トレ講座など、参加者が楽しめるようにバラエティー豊かな事業を実施する。 年2回	3	105
7	鉄棒教室	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の子どもたちが、体を動かすことの楽しさを知り、運動を習慣化するための機会とする。	4:子ども・青少年	5	前回りから逆上がりのマスターを目指す子どもたちを対象に鉄棒教室を行う。 生麦小学校キッズクラブと協働で行う。 会場:生麦小学校 年1回 5月	1	11
8	かけっこ教室	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の子どもたちが、体を動かすことの楽しさを知り、運動を習慣化するための機会とする。	4:子ども・青少年	5	速く走れるようになるための姿勢、腕の振り方、足の動かし方などの教室を行う。 生麦小学校キッズクラブと協働で行う。 会場:生麦小学校 年1回 9月	1	18
9	赤ちゃんのスキンケア講座	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	①乳幼児とその保護者が地域で孤立しないよう交流の機会とする。 ②子育て支援機関(YMCAつるみ保育園)と協働した取り組みを実施することで、地域で健やかな子育てができるように支援していく。	5:地域	3	0歳児を対象に赤ちゃんの肌のスキンケアや、紫外線対策などについての講座を行う。 会場:生麦地域ケアプラザ及びリモート 年1回 5月	1	11
10	キッズ認知症サポーター養成講座	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の子どもたちに対し、認知症への理解を深めると同時に夏休みの宿題(自由研究)の対策とする。	4:子ども・青少年	5	認知症サポーター養成講座を行う。 会場:生麦地域ケアプラザ 年1回 8月	1	8
11	おたっしやクラブ	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症理解と認知症予防の普及啓発やエンディングノートの普及啓発を行う。	1:高齢者	5	認知症、エンディングノートに関する情報を提供。コロナ禍でのコミュニケーション不足を補う意味で簡単なアイスブレイクを行う。 会場:生麦地域ケアプラザ 月1回 第1金曜日 13:00~14:00	12	178
12	ココリラ麦の風	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	俳句を通じた認知症理解と介護保険制度情報提供を行う。	1:高齢者	5	季節を楽しむために俳句を楽しむ時間を設ける。認知症の方も楽しめる場とする。 会場:生麦地域ケアプラザ 月1回 第4火曜日 14:00~14:45	12	49
13	えんぴつサロン	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	脳トレをしながら情報共有しコミュニケーションする機会を提供する。	1:高齢者	5	時間を決めて、程よい緊張感の中で脳トレプリントを行う。いざという時や、エンディングノート記載時に、自分の名前と住所が書けなくなるようにする。 会場:生麦地域ケアプラザ 月1回 第4月曜日(同日の午前と午後2回)	12	309
14	包括のミニ講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域への、ケアプラザおよび地域包括支援センターの認知度向上とエンディングノートの普及啓発を行う。	5:地域	1	ハートページ、はじめての介護保険、わになるノート、ご存じですか成年後見制度、等をテキストとしてミニ講座を開催。総合相談支援としての地域包括支援センターを案内。 会場:生麦地域ケアプラザ もしくは町内会館への出張 月1回程度開催	12	15
15	成年後見制度講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度利用促進を行う。	5:地域	2, 6	成年後見制度の利用促進と周辺制度の案内 会場:生麦地域ケアプラザ 関係機関と調整のうえ、年2回以上開催	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	介護者のつどい	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	介護に役立つ知恵と情報提供と情報交換、介護疲れをいやす場の提供、介護者支援のためのICT活用の方法、介護技術の普及啓発も行う。	5:地域	7	月2回、介護に関する集まりを行っているケアラズカフェつむぎサロンをケアプラザが後方支援する形で、介護イベントを開催する。 会場:生麦地域ケアプラザ 年2回以上協働開催	24	58
17	生麦学び遊び場の会	平成26年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	学習につまずきを覚えやすい小学校3・4年生を対象に地域住民、生麦小学校の元先生などがボランティアで宿題のサポートを行う。	4:子ども・青少年	5	学習につまずきを覚えやすい3・4年生を対象に、夏・冬休みに地域住民や元生麦小学校の先生たちが宿題のサポートや遊びの機会として、ポッチャなどを行う。ケアプラザは、広報・場所貸しの支援を行う。 会場:生麦地域ケアプラザ 夏休み・冬休み・春休み期間	8	46
18	なまいちじゃんカルタ	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	生麦の伝統や文化を幅広い世代に親しまれるカルタというかたちにしてより身近にふれてもらう。	5:地域	4	地域や小学校に生麦の見どころや名物などを盛り込んだカルタの読み札と絵札の募集を行う。月1回の生一連絡会にて協議、選考等を行いカルタを発行する。	10	88
19	グラウンドゴルフ親睦大会	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①生麦第一地区老人会グラウンドゴルフ同好会メンバー同士の親睦を深める。 ②グラウンドゴルフで体を動かすことによって、介護予防の機会とする。	1:高齢者	5	生麦第一地区老人会グラウンドゴルフ同好会メンバー同士の親睦を深めることを目的とした大会。 会場:貝の浜緑地公園(東側) 年2回程度	3	144
20	生麦第一地区連絡会	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①町の活性化のために横のつながりを強化する ②地域の活動を支える地域の方とあいねっと地区別支援チームのつながりを深め生麦の現状を知る機会とする。	5:地域	6	地区別地域福祉保健計画の協議・検討、地域行事などの情報共有、地区社協主催のイベントの計画、「地区社協だより・なまいちじゃん」の発行を行う。	12	108
21	園芸ボランティア	令和元年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの樹木の剪定や花壇の整備などを定期的に行うことにより、地域の方の居場所づくりと活躍の場とする。	5:地域	1, 5	地域の方々のご協力をいただき、ケアプラザの樹木の剪定や花壇の整備、グリーンカーテンの設置を行う。 年4回程度 5月・7月・10月・3月	2	11
22	生活支援ボランティアグループ (生麦おたすけ隊)	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①高齢者や日常生活に困難のある方が、住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援を行う。 ②高齢者が孤立することなく、生きがいや役割を持って、自分らしく暮らし続けられるよう、介護予防・社会参加の機会とする。 ③活動を通じて、高齢者の安否確認や住民同士の関係づくりの機会とする。	1:高齢者	2, 5	①日常の困りごとのお手伝いを行う。 ②介護保険サービス以外の生活支援(インフォーマルサービス)を行う。 ③主な活動内容は次の通り。 草むしり・樹木の剪定 電球・蛍光灯の交換など 家具関係(移動・組立など)	22	106
23	麦の風NEWS (ケアプラザニュース、広報誌)	平成23年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民向けに自主事業、講座、地域行事などの情報をわかりやすく、かつタイムリーに発信する。	5:地域	6	ケアプラザで行う自主事業や講座の情報や地域行事の情報などを掲載し発信する。自治会・町内会の回覧と掲示板(別途掲示板用も作成)で広く周知を行う。 月1回の発行	12	14400
24	登録団体交流会	平成26年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ケアプラザを利用している登録団体同士が交流し、お互いの活動を知る機会とし、団体同士の横つながりを作る。 ケアプラザの利用方法を正しく周知していく機会とする。	5:地域	7	同じ地域で活動している団体が一同に集い、交流の時を持つ。互いの活動を知り、情報交換を通して更なる活動の発展のきっかけ作りの機会とする。 会場:生麦地域ケアプラザ 年1回 8月ごろ	0	0
25	ボランティア感謝会・交流会	平成27年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	2022年度ケアプラザにてボランティア活動を行った方を対象に、活動に対する感謝の意を伝え、ボランティア同士の交流の機会とする。 また、2023度に向けてそれぞれのボランティアの新たな活動のきっかけを見つける機会とする。	5:地域	7	簡単なゲームを行いながら交流、ボランティア活動の表彰、ボランティア同士での意見交換などを行う。 会場:生麦地域ケアプラザ 年1回 3月頃	0	0
26	生麦ケアマネ連絡会	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	包括的・継続的ケアマネジメント事業の一環として実施。生麦地区に所在する居宅介護支援事業所のケアマネジャーの連携強化、質の向上を目的とする。	6:事業者	5	ミニ講座、事例検討、制度や地域情報等の情報交換、意見交換をおこなう。包括主任ケアマネジャーと区域内の居介支主任ケアマネジャーが共同で企画。 会場:生麦地域ケアプラザ 月1回 第4金曜日	11	74
27	民生委員・ケアマネジャー合同連絡会	平成24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	包括的・継続的ケアマネジメント事業の一環として実施。生麦地区で活動するケアマネジャーと民生委員の連携強化、スキルアップを目的とする。	6:事業者	5	講義および情報・意見交換会 年3回例年11,12,2月に地区毎に実施 11月開催分は生麦第一地区民生委員・児童委員協議会と共催で行う。	2	49
28	医療機関・ケアマネジャー合同連絡会	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	包括的・継続的ケアマネジメント事業の一環として実施。生麦地区で活動するケアマネジャー等介護事業所、医療機関の連携強化、スキルアップを目的とする。	6:事業者	5	講義および情報・意見交換会 生麦病院と共催で行う。 年1回	1	7
29	鶴見区内ケアマネジャー向け研修計画表作成	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	包括的・継続的ケアマネジメント事業の一環として実施。鶴見区内でケアマネジャー向け研修を実施する機関、団体に呼びかけ、研修計画の一覧化をおこなう。より効果的、効率的な研修実施が期待できる。	6:事業者	5	鶴見区包括主任ケアマネジャー連絡会の事業の一環として実施。 1~3月にかけ取りまとめ作業をおこない、4月に各機関、団体にフィードバックする。	1	0
30	チャリティーウォーキング (チャリティーラン)	平成25年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン(参加費で障がい児の支援をするイベント)への参加を通じて地域住民の障がいへの社会的理解・関心を高める一助とする。	5:地域	2	地域住民で構成されたチームと一緒にチャリティーランに参加する。 今年度はウォーキング形式で実施された。 年1回 10~11月頃実施	1	3

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
31	楽しく脳トレ！「塗り絵&体操」	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	①地域住民の認知症予防を目的として実施する。 ②地域住民の交流の機会とする。	1:高齢者	5	認知症予防を目的とした脳トレとして塗り絵と体操を行った。 希望者は作品(塗り絵)を明治安田生命「大人の塗り絵コンクール」に応募した。	1	10
32	親子ふれあい教室	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域で子育てする親子の外出機会、交流の場として実施する。	3:養育者及び乳幼児	5	家でできる簡単な手遊びや絵本の読み聞かせの講座の実施。	1	15
33	講座 いまどきのお葬式	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	エンディングノート啓発の取組の一環として、地域の方から要望が上がった内容について講座を企画し、近隣の方に講師となって頂く	5:地域	1	地元生麦小中学校出身でお葬式関連企業に勤務している方に自分の体験を含めつつ、いまどきの葬式事情をお話いただき、家族でもしにも備えることの大切さを確認していただくきっかけとした。	1	25
34	講座 足元が大切	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症予防、フレイル予防のために、まず歩くこと、そのために足元に気を配ることを伝える啓発講座	1:高齢者	5	鶴見区内でNPOとして福祉用具関連の仕事をしている鶴見区在住の方に、歩行にかんれんした福祉用具のお話と歩くことの大切さについてお話していただく	1	24
35	認知症サポーター養成講座	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症になってもなるべく長く地域でくらし、いくためにどのように備えていくのが良いのか、当事者と支援者の両方の視点から考える	1:高齢者	5	鶴見区内在住で認知症の方の支援を行っているかたといっしょに認知症サポーター養成講座を行う	1	22
36	離乳食講座&相談会	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域で子育てする親子の外出機会、交流の場として実施する。	3:養育者及び乳幼児	5	離乳食を始めようとしている、または始めて間もない親子を対象に実施。	1	6
37	施設利用説明会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	時節利用について利用団体へ周知する場として実施	5:地域	7	4月からの施設の予約等に関する説明を行った。	3	30
38	清掃ボランティア	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの利用者・団体がボランティアを行うきっかけづくりとして実施。興味のある方には園芸ボランティアや生活支援ボランティアのご案内を行う。	5:地域	1	ケアプラザの施設やその周辺地域の清掃活動。 年4回	4	42